

北海道南西沖地震の教訓を次世代へ スクーバダイビング

奥尻島は大自然に囲まれた環境にあります。特に海の色は美しく、青い海と白い波が美しいです。仲間とともに大きな感動を味わうことができます。また、ダイビングスキルを身につけることはもちろんですが、北海道南西沖地震を経験した奥尻島で海に触れることを通して、防災意識の向上を始め、環境保全の意識向上を目指します。

初級班

スクーバダイビング初心者（新入生）を対象に初級班を設けています。器材の扱い方や海中でのハンドシグナル、緊急時の対応等の基礎知識を座学で学び、プールで念入りな実習を経て、海洋実習へ向かいます。まずは自分とバディを相互に守れることを目標として、スクーバダイビングの基礎知識と基礎技術を身につけます。

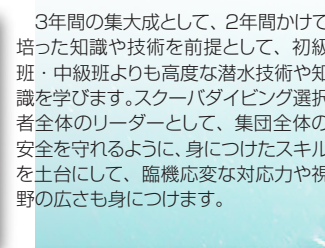


中級班



座学・実習ともに、初級班よりもさらにレベルの上上がった実習内容となります。「ボンベの空気がなくなった場合」のアウトバスブリージングやハンドシグナルなどを学び、集団の中で相互に助け合えるように緊急時の冷静な対応を目指し、海中での器材の脱着も練習します。

上級班



3年間の集大成として、2年間かけて培った知識や技術を前提として、初級班・中級班よりも高度な潜水技術や知識を学びます。スクーバダイビング選択者全体のリーダーとして、集団全体の安全を守るように、身につけたスキルを土台にして、臨機応変な対応力や視野の広さも身につけます。

ファンダイビング



約3ヶ月かけて培った潜水技術を活かし、奥尻の海の素晴らしさを肌で感じ、海中の景色や海洋生物の観察など、「楽しむ」ことを目的とした活動です。例年8月下旬に、スクーバダイビングの集大成として実施します。

※令和3年度スクーバダイビングは新型コロナウイルスの影響を考慮し、活動内容を一部変更して実施しました。

◆潜水士合格者



将来、潜水士資格を獲得したら、どのように活用しますか？

僕は救命士になって水難救助をしたいと思っているので、今年で潜水士を獲得して就職した時に、即戦力としてすぐにみんなの役に立てるようにしたいです。

3年 工藤 愛友 くん

◆資格取得状況

過去3カ年	年度	オープンウォーター	アドバンス	潜水士
	令和元年度	19名	8名	2名
	令和2年度	0名	0名	6名
	令和3年度	18名	0名	2名

累計

NAUIオープンウォーターダイバー	341名 (H 7～R 3)
NAUIレスキューダイバー	73名 (H11～H20)
NAUIアドバンスダイバー	157名 (H18～R 1)
潜水士	50名 (H 9～R 3)

※「オープンウォーターダイバー」は水深18mまで、「アドバンス」は水深30mまで、補給資格。

スクーバダイビングでできること

バディシステムを通して、助け合う姿勢や安全への配慮、地震や津波などへの防災意識を向上させます。その中で、奥尻島の素晴らしい自然を肌で感じることができます。その反面、海洋ゴミを目の当たりにするかもしれません。海浜清掃などを通して、環境保全の意識も向上させます。その他、「潜水士」の資格取得に挑戦することもできます。



スクーバダイビングへの期待を教えてください。

自分は、スクーバダイビングの授業があるため奥尻高校に進学すると決めたほど、すごく楽しみにしています。スクーバダイビングでは、海の環境のことを考えたり、3年間で潜水士の資格を取れるように頑張りたいと思っています。

1年 山本 太一 くん



スクーバダイビングの面白さを教えてください。

3年間を通して学んだ中でスクーバダイビングの好きな所は、1番はやはり奥尻ブルーと呼ばれる透明度の高い美しい奥尻の海を内側から堪能出来ることです。他にも、潜水するだけではなく、その海の綺麗さと島の環境の関係性について学んだり、地元の漁師の方々からロープワークを教えるなど、奥尻島ならではの学びが多く、最終的に潜水士の資格を取得する事もできる魅力的で全国的にも珍しい授業です。

3年 松屋 藍瑞 さん



持続可能な組織づくり→地域の魅力を再発見&発信！ 奥尻パブリシティ本部

「発信」することを通して、地方創生に関わり、町の活性化を目指します。

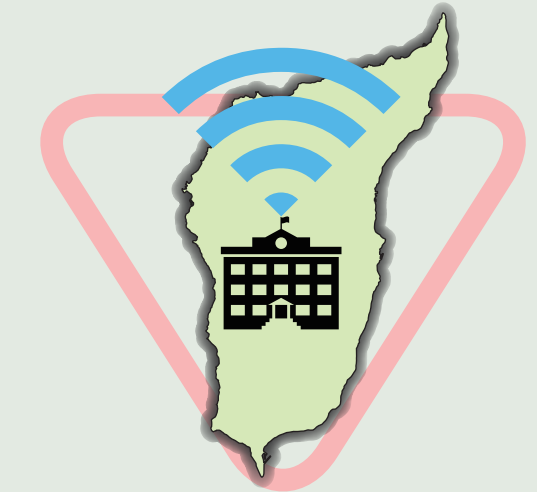
パブリシティ(Publicity)とは…

マスメディアに流される、製品やサービスに関する報道

▶不特定多数の人に伝える手段や方法

→新聞・雑誌・出版物・テレビ放送・映画など

組織づくりから発信する内容や方法の検討まで
生徒が主体となって進めていきます



実績(発信例)



できること

奥尻町の魅力や価値を様々な視点から探して、実地調査や聞き取り調査を行います。その中で発見や気づきを元に、各チームの強みを最大限生かしながら、発信方法を工夫して表現力を高めていきます。また、異学年による組織に関わることで、協働的な学びが得られます。

実績

- 島内のフォトスポット紹介動画の制作・公開
- 「島民の暮らし」に着目したパンフレットの制作・配布など、様々な方法で発信しています。



これまでのパブリシティ本部の活動

- 観光ガイド「奥尻三味」の発行
- 緑地の復元や廃施設の再利用に関するプレゼン
- アドベンチャーツーリズムを企画（奥尻島の自然との触れあい）
- Webサイト・アプリの開発



パブリシティの面白さを教えてください。

自分たちで自転車で島を一周したり、島民にインタビューしたりしながら奥尻の魅力を探し、動画やパンフレットなど自由に全国に発信していくことが面白いと感じています。学年の枠を超えたグループの中で先輩や後輩と仲良くコミュニケーションをとり、様々なアイデアを出し合いながら進めていくので、時間があっという間に過ぎていきます。

3年 川本 空さん



パブリシティへの期待を教えてください。

私は人前で話すことが苦手なので、高校生活で苦手克服したいと思い、奥尻パブリシティ本部を選択しました。先輩たちとの交流を忘れず、奥尻島の魅力について探究していきたいです。

1年 坪谷 相那 さん